

2018年度 言語文化学部		日英区分:日本語	
多言語・多文化社会論研究B			
■ ■ 履修コード	■ ■ 科目分野		
412066			
■ ■ 担当教員 (ローマ字表記)			
シートン [SEATON Philip]			
■ ■ 授業形態	■ ■ 単位数	■ ■ 学期	■ ■ 曜日・時限
	2	秋学期	月2

■ ■ 講義題目 (和文)

コンテンツツーリズム入門

■ ■ 講義題目 (英文)

An Introduction to Contents Tourism

■ ■ 講義・演習の別

講義

■ ■ 授業の目標

最近話題になっている「聖地巡礼」（ポップカルチャー作品のファンがゆかりの地を訪れるという行動）という現象について学びます。グループ研究プロジェクトを通じて、基礎的な研究方法論（アンケートのデザイン、データ収集、統計の解釈など）を身につけます。フィールドワークを通じて、聖地巡礼という行動の本質を実感します。

■ ■ 授業の概要

コースは四つのブロック（三週間毎）に分けられています。まず、映画の分析を通じて、どのような場所が「聖地」になるかを考え、その後、コンテンツツーリズムの行為者（ファン、自治体、コンテンツ作成者）についての調査を行います。

■ ■ キーワード

コンテンツツーリズム、観光、ポップカルチャー

■ ■ 授業の計画

内容

イントロダクション

どこが聖地になるのか。「ラストサムライ」の事例。

どこが聖地になるのか。「ラストサムライ」の事例。

どこが聖地になるのか。「ラストサムライ」の事例。

ファンの行動。アンケートの実施。

ファンの行動。アンケートの実施。

ファンの行動。アンケートの実施。

アクティブラーニング。「聖地」での現地調査。

アクティブラーニング。「聖地」での現地調査。

自治体の動きと観光統計の分析。

自治体の動きと観光統計の分析。

自治体の動きと観光統計の分析。

コンテンツビジネスの動きと経済効果の分析。

コンテンツビジネスの動きと経済効果の分析。

コンテンツビジネスの動きと経済効果の分析。

■ ■ 成績評価の方法・基準

授業中の参加（50%）、アクティブラーニング（25%）、レポート（25%）

■ ■ 事前・事後学習

予習：グループ発表に向けて、情報収集や文献精読をする。
宿題：アクティブラーニング報告書とレポートを作成します。

■ 授業上の注意

この授業では、主に日本語で行いますが、英語資料を使用する場合があります。

■ 教科書

■ 参考書

参考書1	ISBN	978-1604979732				
	書名	Contents tourism in Japan : pilgrimages to "sacred sites" of popular culture				
	著者名	Philip Seaton ... [et al.]	出版社	Cambria Press	出版年	2017
	備考					
参考書2	ISBN	978-4779115080				
	書名	コンテンツ・ツーリズムとは何か				
	著者名	増淵敏之著	出版社	彩流社	出版年	2010
	備考					
参考書3	ISBN	978-4571410550				
	書名	コンテンツツーリズム研究：情報社会の観光行動と地域振興				
	著者名	岡本健編著	出版社	福村出版	出版年	2015
	備考					
参考書4	ISBN	978-4772231633				
	書名	コンテンツツーリズム入門				
	著者名	増淵敏之 [ほか] 著	出版社	古今書院	出版年	2014
	備考					
参考書5	ISBN	978-1845415839				
	書名	Film-induced tourism				
	著者名	Sue Beeton	出版社	Channel View Publications	出版年	2016
	備考					

■ 教科書・参考書に関する補足情報

ホームページ：www.philipseaton.net

■ 使用言語

日本語(J)